

# つくばこどもの 青い羽根基金

アニュアルレポート  
2023年4月～2024年3月



つくば市

2024年10月発行

# 市長メッセージ

日頃よりつくばこどもの青い羽根基金へご支援を頂き、ありがとうございます。

2023年12月、こども大綱が策定され、子どもの貧困は、子どもの権利利益を侵害するだけでなく、社会的孤立にもつながる深刻な課題であり、その解消に全力をあげて取り組むことが謳われました。

明るい未来を支えつくり上げていくのは、今を生きる子どもたちです。その子どもたちが自分の可能性を信じて前向きに挑戦し、未来を切り開いていける社会にすることが必要です。明るい未来をつくるために、私たちは、子どもたち一人ひとりが抱えている問題の解決を後回しにしてはなりません。

つくば市では、全国の平均よりは少ないものの、生活保護または就学援助受給世帯の子どもの人数は、年々増加を続けており、より一層充実した支援を推進する必要性が高いと強く感じています。

2019年につくば市が創設した、つくばこどもの青い羽根基金は、世代を超えた貧困の連鎖を断ち切るとともに、全ての子どもたちが夢と希望をもって成長していける社会をつくるための仕組みです。

皆様から頂いた寄付金は、つくばこどもの青い羽根学習会をはじめとした様々な事業に活用しており、2023年度においては、スポーツや文化芸術の活動の機会を確保できるよう、新たに地域クラブ活動参加者支援交付金を開始しました。家庭に経済的・時間的・精神的な余裕がなく、本来与えられるべき学習や体験の機会が十分に与えられない子どもたちが、社会性を育み、意欲を持って健やかに成長することができるよう、今後も事業の継続・拡大に努めていきます。

そして、2024年4月には、「こども未来課」と「健康増進課の母子保健部門」を統合し、「こども未来センター」を設置しました。こども未来センターでは、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもを対象とした相談支援窓口として、妊娠・出産期から子育て期まで切れ目のないサポートを行っています。誰一人取り残さず支援を届けることができるよう、継続的に体制を強化していきます。

貧困の連鎖によって、子どもたちの無限の可能性の芽が摘まれるようなことは、決してあってはなりません。生まれ育った環境に左右されることなく、子どもたちが安心して学び生活できる環境とともに創るために、これからもご理解・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

つくば市長



# これまでの取組

## 誰一人取り残さない「世界のあしたが見えるまち」を目指して

家庭の経済的な状況に左右されず、子どもたちが安心して学び、生活できる環境をつくるためには、貧困から貧困への負の連鎖を断ち切らなければなりません。つくば市は、将来世代に貧困を継続させない仕組みづくりを行っています。



**2017年10月**  
つくばこどもの青い羽根学習会開始

新型コロナウイルス感染症の流行に伴う臨時休校で給食がなくなった期間に、経済的理由や保護者の疾病等で昼食をとることが困難な子どもたちに弁当等を配布しました。

**2020年4～6月**  
※土・日・祝日を除く39日間  
新型コロナウイルス感染症の影響に対する食の支援

「こども未来課」と「健康増進課の母子保健部門」を統合し、児童福祉と母子保健の一体的な相談支援を行うことで、妊娠・出産期から子育て期まで切れ目なくサポートできるようになりました。

**2024年4月**  
こども未来センター設置

**2018年4月**  
こども未来室設置

**2018年11月**  
みんなの食堂事業補助金開始

**2019年4月**  
つくばこどもの青い羽根基金創設

**2019年4月**  
学習塾代助成開始

**2020年6月**  
居場所づくり支援事業（青い羽根のいえ）開始

**2021年9月**  
※土・日・祝日を除く10日間  
新型コロナウイルス感染症の影響に対する食の支援

**2022年4月**  
こども未来課設置

**2023年11月**  
地域クラブ活動参加者支援交付金開始  
※教育局学び推進課の事業

# 寄付金の活用事業

## 小さなやさしさの積み重ねが、子どもたちの大きな未来につながります

皆様から頂いたご寄付とボランティアの皆様のご尽力によって、2023年度も多くの子どもたちに学びの機会や居場所を提供することができました。

### つくばこどもの青い羽根学習会

財源

国補助金

市一般財源

青い羽根基金

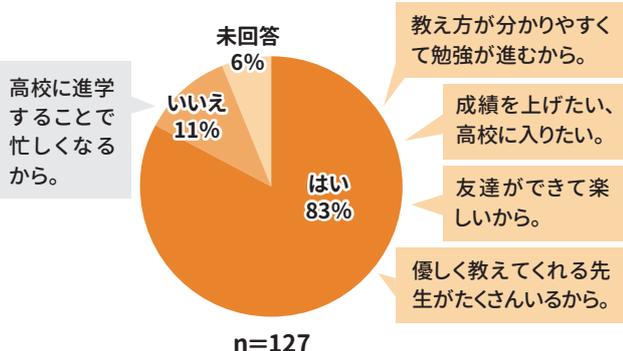
生活保護または就学援助受給世帯の子どもに対して学習支援や安心できる居場所の提供等を行い、学習習慣や生きる力、自己肯定感を育む。

青い羽根学習会 実績	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
実施箇所数（箇所）	13	14	16	16	18
登録児童・生徒数（人）	236	299	332	341	365



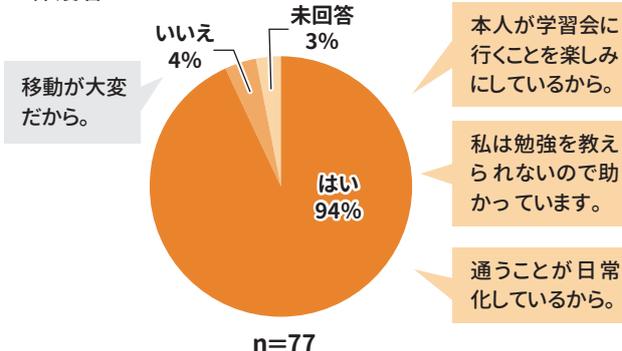
児童

これからも続けて通いたいですか？



保護者

お子様にこれからも続けて利用させたいですか？



つくばこどもの青い羽根学習会年度末アンケート（2024年3月実施）

### 子どもの学習塾代助成

財源

青い羽根基金

生活保護または就学援助受給世帯の中学生に学習塾の利用にかかる授業料の一部を助成し、子どもたちに学びの機会を提供する。

学習塾代助成 実績	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
利用生徒数（人）	14	21	22	21	22



保護者

費用面から、塾を変えるか、不定期講座を受けるかなど悩んでいましたが、子どもが希望するとおり通わせることができました。



保護者

学習習慣がつき毎日塾に自習に行き、家でも勉強するようになったのでテストの点数が上がった。

子どもの学習塾代助成利用終了後アンケート（2024年3月実施）

## 居場所づくり支援事業（青い羽根のいえ）

財源

国  
補助金

市  
一般財源

青い羽根  
基金

孤立を防ぎ、生活習慣を向上させることにより貧困の連鎖を断ち切ることを目的として、複合的な困難を抱える1～9年生を対象に週5日、食事の提供や季節のイベントなど体験の機会の提供、青い羽根のいえまでの送迎を実施し、安心して過ごすことのできる居場所を提供。

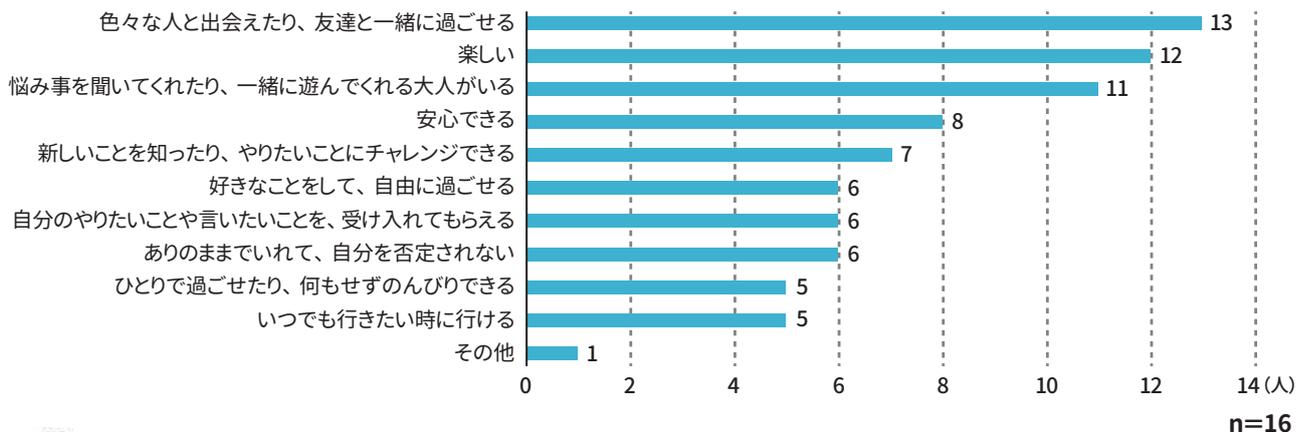
利用する子どもの状況として、不登校気味だった子どもが自分自身で登校できるようになったり、物や人に当たることでしか感情を伝えることができなかった子どもが気持ちを言葉で表現できるようになり、自分の行動を見直し、他者と交流できるようになった等、良い変化が見られている。

個々の利用の仕方に応じて受け入れできる体制を整えるため、2023年度から、開設日数を週3日から週5日に拡大。



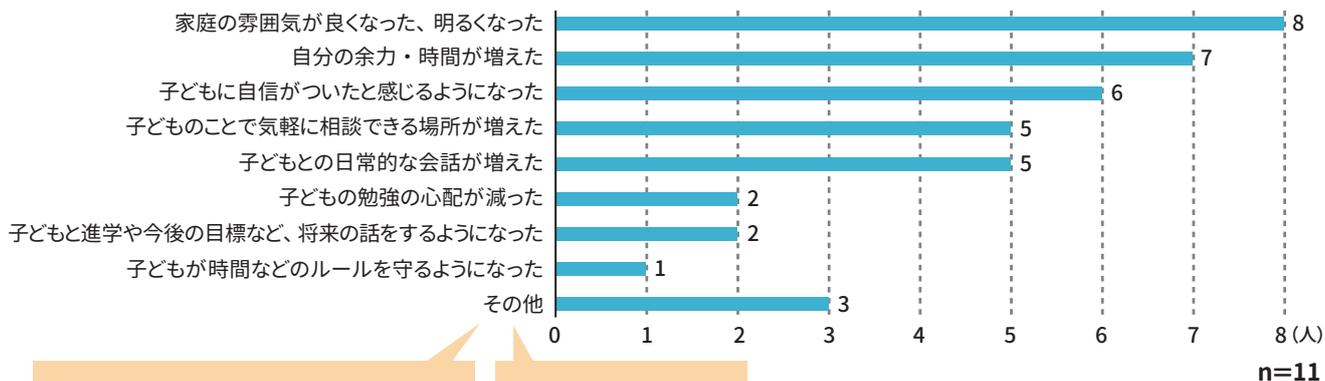
児童

### 青い羽根のいえは、あなたにとってどのような場所ですか？（複数選択可）



保護者

### お子様が青い羽根のいえを利用することで、お子様、保護者様、ご家庭に何か良い変化はありましたか？（複数選択可）



子どもの心のケアをしてくれたり、生活を援助してくれたり、いつも助けてもらえて、子どもたちも私たちも助かっています。

子どもが青い羽根のいえに行くのを楽しみになった。

青い羽根のいえ年度末アンケート（2024年3月実施）

## みんなの食堂事業補助金

財源

国補助金

市一般財源

2022年度まで及び2024年度以降は基金を活用

みんなの食堂（子どもから高齢の方まで誰でも行くことができるみんなの居場所）の実施団体に補助金を交付し、食を通じた居場所づくりを支援する。

- ・ 補助金額 月 1 回実施 50,000 円／年  
月 2 回以上実施 100,000 円／年
- ・ 補助対象 食材費、消耗品費、保険料など

みんなの食堂 実績	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
全団体数	6	7	7	9	10
うち補助金交付団体数	4	5	5	7	8
延べ利用者数（人）	379	2,162	3,103	4,233	5,265



市内のみんなの食堂に関する情報をまとめたマップを発行しています



詳細はこちら



## 新規 地域クラブ活動参加者支援交付金

財源

青い羽根基金

市一般財源

生活保護または就学援助受給世帯の中学生に対し、地域クラブ活動参加費用を助成し、スポーツおよび文化芸術の活動の機会を確保する。

	2023年度
利用生徒数（人）	7

# つくばこどもの青い羽根基金実績

## 2023年度の収支報告

### 収入

	金額
2023年度寄付金	15,439,599 円
企業	5,736,581 円
個人	4,823,993 円
区会	3,367,496 円
団体	1,511,529 円
預金利子	479 円
繰越金	24,319,773 円
合計	39,759,851 円

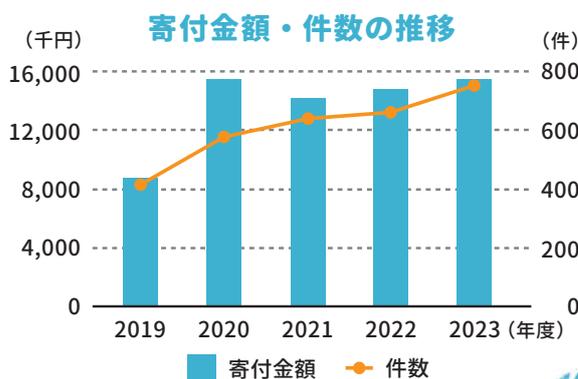
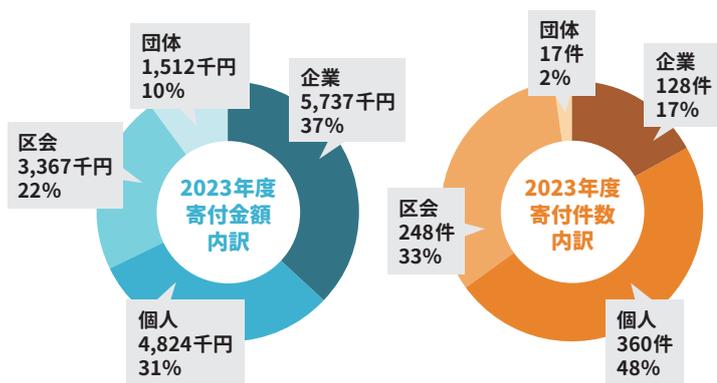
### 支出

	金額
居場所づくり支援事業（青い羽根のいえ）	10,833,000 円
つくばこどもの青い羽根学習会	1,870,000 円
子どもの学習塾代助成	1,080,000 円
地域クラブ活動参加者支援交付金	100,000 円
その他子どもの未来支援のための事業に関する経費	1,185,000 円
合計	15,068,000 円

2023年度に頂いた寄付金は、前年度比 3.9% 増の約 1,544 万円でした。寄付件数は、前年度比 13.4% 増の 753 件に及び、つくばこどもの青い羽根基金の創設以降、最多となりました。

子どもの学習塾代助成は、事業費全額をつくばこどもの青い羽根基金から支出していますが、その他の事業は、基金の他に、国の補助金や市の一般財源も事業費に充てています。それぞれの総事業費は、居場所づくり支援事業（青い羽根のいえ）が約 2,866 万円、つくばこどもの青い羽根学習会が約 3,399 万円、地域クラブ活動参加者支援交付金が約 14 万円です。

その他子どもの未来支援のための事業に関する経費としては、居場所づくり支援事業（青い羽根のいえ）で使用する送迎車両の維持費等に活用しています。



## 今後の寄付金の活用について

困難を抱える子どもたちにとって安心できる居場所や学習支援はより重要なものとなっています。「貧困の連鎖を断ち切る」「誰一人取り残さない」という理念のもと、今後も「つくばこどもの青い羽根基金」を有効に活用し、事業の継続・拡充を行います。

### ・居場所づくり支援事業（青い羽根のいえ）

学校や関係機関と連携を深め、複合的な困難を抱える子どもたちの支援を強化していく。

2024年度は、長期休暇中において、生活リズムを整えることを目的に平日も日曜日と同様の時間帯で実施中。

### ・つくばこどもの青い羽根学習会

学習拠点を更に増設し、自宅から学習支援拠点までの距離や家庭の状況によらず、子どもが利用しやすい環境づくりに取り組む。2024年度は拠点を2か所増やし、20か所で実施中。

### ・みんなの食堂事業補助金

市報やSNS等による事業の周知を強化し、運営団体を支援する。2024年10月現在、13か所で実施中。

※基金活用事業の一部を抜粋しています。

## 2023年度にご支援いただいた企業・団体・個人の皆様

※つくばこどもの青い羽根基金に10万円以上の寄付を頂き、公表に同意を得た企業・団体・個人のみ掲載

100万円以上	■大堀電気工事 ■勝野 陽士	(五十音順、敬称略)
50万円以上	■関彰商事 ■つくばマラソン実行委員会 ■沼尻産業	
30万円以上	■つくばOAKライオンズクラブ ■渡辺 航	
20万円以上	■コカ・コーラボトラーズジャパン (ボランティア・ベンダー協会、フードテックジャパン) ■山田 正美	
10万円以上	■アイネクスト ■あおぞら ■AKATSUKI ■ウォーターエージェンシー ■エキープK ■システムコピー販売 ■千勝神社 ■塚本建装 ■つくばエッサ ■つくばキリストの愛教会 ■つくば市農業協同組合 ■つくば市谷田部農業協同組合 ■椿屋商事 ■東栄商事 ■東京空色 ■トヨシマ総合建設 ■トレジャーボックス茨城支店 ■ニッソク ■藤井 道子 ■ペンギンシステム ■マツザカハウス ■松本 玲子 ■ユニバーサル技研	

## 2023年度に寄付付き商品にご協力いただいた企業の皆様

- 伊藤園 ■コカ・コーラボトラーズジャパン ■サントリービバレッジソリューション (五十音順、敬称略)  
■スペースサービス ■筑波学園ホテル ■鶴と学び ■八洋 ■フードテックジャパン ■fortune  
■ボランティア・ベンダー協会

誰一人、取り残さない「世界のあした」を。

# つくばこどもの青い羽根基金

子どもの未来を支援するための「つくばこどもの青い羽根基金」に、寄付のご協力をお願いします。寄付金は、世代を超えた貧困の連鎖を断ち切るとともに、全ての子どもたちが夢と希望を持って成長していけるよう事業に活用させていただきます。

寄付の申込方法

- 1 市ホームページから(クレジットカード決済可)
- 2 申込書(市ホームページに用意)を郵送
- 3 こども未来センターで直接

つくばこどもの青い羽根




つくばこどもの青い羽根基金

世界のあしたが見えるまち。  
TSUKUBA

発行

つくば市こども部こども未来センター  
〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1  
☎029-883-1111 (代)